



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 2月20日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-044194

出 願 人

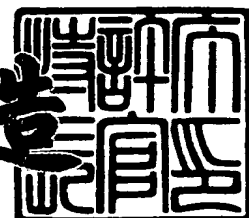
Applicant(s):

ソニー株式会社

2001年12月14日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3109241

【書類名】 特許願

【整理番号】 0100058601

【特記事項】 特許法第 3 0 条第 1 項の規定の適用を受けようとする特
許出願

【提出日】 平成13年 2月20日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B65D 21/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 和仁 義明

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 広瀬 賢一

【特許出願人】

 【識別番号】 000002185

 【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100080883

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 松隈 秀盛

 【電話番号】 03-3343-5821

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 012645

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

特 2 0 0 1 - 0 4 4 1 9 4

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707386

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電池収納ケース

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 胴体部と該胴体部の一端の開口部と上記胴体部の他端の底面部とを有する本体と、胴体部と該胴体部の一端の開口部と上記胴体部の他端の係合部とを有する蓋部と、を有する電池収納ケースにおいて、上記本体の胴体部の外面には突起列が設けられ、上記蓋部の胴体部の内面には上記本体の突起列に係合するように構成された突起列が設けられ、上記蓋部の係合部には貫通孔が設けられ、該貫通孔の少なくとも一方の開口部の周囲は凹部となっており、上記貫通孔の周囲の一部は円筒状に形成されていることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項 2】 請求項 1 記載の電池収納ケースにおいて、上記本体の胴体部及び上記蓋部の胴体部は、その断面形状において少なくとも一部は円弧状に形成されていることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項 3】 請求項 2 記載の電池収納ケースにおいて、上記本体の胴体部及び上記蓋部の胴体部は、その断面形状において円形状に形成されていることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項 4】 請求項 1 又は 2 記載の電池収納ケースにおいて、上記本体の底面部は外側に向けて膨らんだ形状をなしていることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項 5】 請求項 1 又は 2 記載の電池収納ケースにおいて、上記蓋部の係合部には上記貫通孔と上記胴体部との間に空間部を有していることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項 6】 請求項 1 又は 2 記載の電池収納ケースにおいて、上記本体の底面部の近傍の胴体部の外面に上記蓋部の開口部と略同一の外径を有する突起部が形成されていることを特徴とする電池収納ケース。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は電池を収納するための透明なプラスチック製の電池収納ケースに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

文房具、工具、台所用品、電気製品、食品、雑貨等を収納し保護するために透明なプラスチック製の収納ケースが使用される。このような例として、例えば、実開昭61-99491号、実開昭62-105134号、特許第3015772号、特開平11-321865号、特開平11-321868号、米国特許第4509656号、米国特許第4046279号、米国特許第4210253号、米国特許第4596340号、米国特許第5680949号等が開示されたものがある。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

透明なプラスチック製の収納ケースは、物品を収納するために使用されるが、商品展览展示し陳列するためにも使用される。しかしながら、従来、商品展览展示陳列するために使用し、更に、その商品を購入した消費者が物品を保護しつつかつ携帯するのに十分な収納ケースはなかった。

【 0 0 0 4 】

近年、携帯型の電気製品が広く使用されている。携帯型の電気製品を使用する場合、予備の電池を用意しておく必要がある。しかしながら、従来、予備の電池を収納するための収納ケースとして適当なものなかった。例えば、商品展览展示陳列するときに使用する収納ケースをそのまま携帯に使用する場合は、収納ケースに鋭い角部があったりして、バッグ等に入れて携帯する際に、ケースの角部が潰れて物品の取り出しに支障をきたしたり、収納ケースの角部が他の携帯物に当たって傷をつけたり、また収納ケースから物品を取り出した後は中身の無くなった収納ケース自身が携帯の際邪魔な存在になったりする。

【 0 0 0 5 】

従って、本発明は、電池を販売するときには、それを展览展示陳列するために使用可能であり、且つ、予備の電池を持ち運ぶときには、それを収納し且つ携帯し易い電池収納ケースを提供することを目的とする。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明によると、胴体部と該胴体部の一端の開口部と上記胴体部の他端の底面部とを有する本体と、胴体部と該胴体部の一端の開口部と上記胴体部の他端の係合部とを有する蓋部と、を有する電池収納ケースにおいて、上記本体の胴体部の外面には突起列が設けられ、上記蓋部の胴体部の内面には上記本体の突起列に係合するように構成された突起列が設けられ、上記蓋部の係合部には貫通孔が設けられ、該貫通孔の少なくとも一方の開口部の周囲は凹部となっており、上記貫通孔の周囲の一部は円筒状に形成されている。

【0007】

【発明の実施の形態】

図1を参照して本発明の第1の例を説明する。本例の電池収納ケースは透明のプラスチック製の本体10と蓋部50とを有する。本体10は、断面が眼鏡形の筒状の胴体20と上端の開口部22と下端の底面24とを有する容器の形状である。開口部22と底面24は胴体の断面と同様に眼鏡形である。胴体20は、平坦な前面14と2つの蒲鉾形の凸部12A、12Bを有する背面12と2つの側面16、18とを有する。

【0008】

蓋部50は、断面が眼鏡形の筒状の胴体60と上端の係合部70と下端の開口部62とを有する蓋の形状である。開口部62は胴体60の断面と同様に眼鏡形である。胴体60は、平坦な前面54と2つの蒲鉾形の凸部52A、52Bを有する背面52と2つの側面56、58とを有する。

【0009】

本体10の胴体20と蓋部50の胴体60は、共に、眼鏡形の断面を有するが、これは2列の電池を収納するためである。本体10の背面12の2つの蒲鉾形の凸部12A、12B及び蓋部50の背面52の2つの蒲鉾形の凸部52A、52Bは、電池の外形に対応している。

【0010】

本体10の胴体の側面16、18の外面には略全長に亘って軸線方向に沿って突起列16A、18A（図1では一方18Aのみ図示）が設けられている。突起の各々は側面16、18の外面上を円周方向又は横方向に延びており、等間隔に

並んで配置されている。蓋体50の胴体の側面56、58の内面には開口部の近傍の短い部分に、軸線方向に沿って突起列56A、58A（図1では一方58Aのみ図示）が設けられている。突起の各々は側面56、58の内面上を円周方向又は横方向に延びており、等間隔に並んで配置されている。

【0011】

本体10の胴体20の側面16、18の突起16A、18Aの先端の外径は、蓋体50の胴体60の側面56、58の内径より小さいが、その突起56A、58Aの先端の内径より大きい。従って、蓋体50を本体10に被せるとき、又は蓋体50に本体10を挿入するとき、本体10の側面16、18の突起16A、18Aは蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aに衝突するが、本体10を更に蓋体50内に押し込むと、本体10の側面16、18は内方に弾性変形し、蓋部50の側面56、58は外方に弾性変形し、本体10の側面16、18の突起16A、18Aは蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aを乗り越えて進む。

【0012】

蓋体50を本体10より外すとき、又は蓋体50より本体10を抜き出すとき、上述の動作と同様の動作がなされる。本体10の側面16、18の突起16A、18Aは蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aに衝突するが、本体10を更に蓋体50より抜き出すと、本体10の側面16、18は内方に弾性変形し、蓋部50の側面56、58は外方に弾性変形し、本体10の側面16、18の突起16A、18Aは蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aを乗り越えて進む。

【0013】

本体10の側面16、18の突起16A、18Aと蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aが互いに当接することによって、ユーザが蓋体50と本体10に力を加えない限り、両者が互いに他に対して移動することはない。即ち、これらの突起の係合によって、両者は自然に移動することが防止される。

【0014】

本体10を蓋部50に挿入し易くするために、本体10の開口部22の近傍2

2 A は、その胴体 2 0 の断面より僅かに小さくなっている。

【 0 0 1 5 】

係合部 7 0 には、胴体 6 0 の背面 5 2 の側から前面 5 4 の側まで貫通する孔 7 2 が設けられている。係合部 7 0 の外形は全体的に滑らかな曲面をなしており、その断面の形状及び寸法は、胴体 6 0 の上端から係合部 7 0 の上端まで、連続的に変化している。即ち、係合部 7 0 には先端が尖った突起が無いように構成されている。

【 0 0 1 6 】

図 2 を参照して説明する。図 2 は、4 つの電池 1、2、3、4（4 つの電池のうち 2 つを図示）を収納した電池収納ケースが販売店の展示陳列用のフック 5 によって支持された状態を示す。電池収納ケースの蓋部 5 0 の係合部 7 0 の孔 7 2 にフック 5 が挿入されている。上述のように、本例の電池収納ケースには 2 列の電池を収納することができるが、各列には 2 個の電池を積み重ねた状態にて収納することができる。

【 0 0 1 7 】

図 2 おける電池 1、2 は突起 1 A、2 A を有する正極側が上側になるように配置されているが、正極側が下側になるように配置することもできる。図示のように、電池 1、2 の正極側の突起 1 A、2 A が上側になるように配置された場合には、上側の電池 1 の正極側の突起 1 A は、蓋部 5 0 の上端の係合部 7 0 内の空間に配置される。本体 1 0 の底面 2 4 は図示のように僅かに湾曲しており、電池の正極側の突起を収容するために十分な凸部 2 4 A を備えている。電池の正極側の突起が下側になるように配置された場合には、下側の電池の正極側の突起は、本体 1 0 の底面 2 4 の凸部 2 4 A に収容される。

【 0 0 1 8 】

図 1 の電池 4 本ケースの場合で電池 2 本を取り出した後、及び、図 3 の電池 2 本ケースで電池 1 本を取り出した後において、収納ケースを更に短く収縮して携帯サイズを小さくできる。

【 0 0 1 9 】

孔 7 2 は背面 5 2 側の開口部と前面 5 4 側の開口部を有するが、両者の一方、

図示の例では、背面 52 側の開口部の周囲 74 は窪んでいる。従って、係合部 70 は、孔 72 の周囲にて、実質的に厚さ t が薄くなり、孔 72 にフック 5 を挿入する動作がより容易となる。

【0020】

孔 72 の上端 78 は中空円筒状をなしており、その外形は筒状体の一部を形成している。従って、本例では、蓋部 50 の係合部 70 は鋭い突起が無い滑らかな外形をなしている。

【0021】

図 3 を参照して本発明の電池収納ケースの第 2 の例を説明する。本例の電池収納ケースは透明のプラスチック製の本体 110 と蓋部 150 とを有する。本体 110 は、断面が円形の筒状の胴体 120 と上端の開口部 122 と下端の底面 124 とを有する容器の形状である。開口部 122 と底面 124 は胴体 120 の断面と同様に円形である。

【0022】

蓋部 150 は、断面が円形の筒状の胴体 160 と上端の係合部 170 と下端の開口部 162 とを有する蓋の形状である。開口部 162 は胴体 160 の断面と同様に円形である。

【0023】

本体 110 の胴体 120 と蓋部 150 の胴体 160 は、共に、円形の断面を有するが、これは 1 列の電池を収納するためである。本体 110 の胴体及び蓋部 150 の胴体は電池の外形に対応している。

【0024】

本体 110 の胴体 120 の外面には両側に略全長に亘って軸線方向に沿って突起列 126、128（図 3 では一方 126 のみ図示）が設けられている。突起の各々は胴体の外面上を円周方向又は横方向に延びており、等間隔に並んで配置されている。蓋部 150 の胴体 160 の内面には開口部の近傍の短い部分に、複数のリング状の突起列 166（図 3 では一列 166 のみ図示）が設けられている。突起の各々は等間隔に並んで配置されている。

【0025】

本体 1 1 0 の胴体 1 2 0 の突起列 1 2 6、1 2 8 と蓋体 1 5 0 の胴体 1 6 0 の突起列 1 6 6 の動作及び機能は第 1 の例の場合と同様である。

【0 0 2 6】

係合部 1 7 0 の外形は全体的に滑らかな曲面をなしており、その断面の形状及び寸法は、胴体から上端まで、連続的に変化している。即ち、係合部 1 7 0 には先端が尖った突起が無いように構成されている。係合部 1 7 0 には、胴体 1 6 0 の軸線に直交する方向に延びる貫通孔 1 7 2 が設けられている。孔 1 7 2 の 2 つの開口部の少なくとも一方の開口部の周囲 1 7 4 は窪んでいる。従って、図 2 を参照して説明したように、係合部 1 7 0 は、孔 1 7 2 の周囲にて、実質的に厚さ t が薄くなり、孔 1 7 2 にフック 5 を挿入する動作がより容易となる。

【0 0 2 7】

図 4 を参照して本発明の電池収納ケースの更に他の例を説明する。本例では、図 1 の例と比較して、本体 1 0 の胴体部 2 0 にストッパ 2 8 が設けられている点異なる。ストッパ 2 8 以外の部分は図 1 の例と同様である。ストッパ 2 8 は蓋部 5 0 の胴体部 6 0 の断面の外径と略同一の外径を有する。従って、本体 1 0 を蓋部 5 0 に挿入すると、蓋部 5 0 の開口部 6 2 がストッパ 2 8 に当接する。

【0 0 2 8】

以上本発明の例について説明したが、本発明は上述の例に限定されることなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲にて様々な他の例が可能であることは当業者にとって容易に理解されよう。

【0 0 2 9】

【発明の効果】

本発明の電池収納ケースによると、電池の販売店では電池を展示陳列するためのケースとして機能し、ユーザは携帯電気製品のための予備電池を収納するためのケースとして使用することができる利点がある。

【0 0 3 0】

本発明の電池収納ケースによると、鋭い突起が無く全体的に滑らかな曲面より構成されているので、予備用の電池を収納して持ち運ぶのに便利である利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の電池収納ケースの第 1 の例を説明するための説明図である。

【図 2】

本発明の電池収納ケースの第 1 の例の使用例を説明するための説明図である。

【図 3】

本発明の電池収納ケースの第 2 の例を説明するための説明図である。

【図 4】

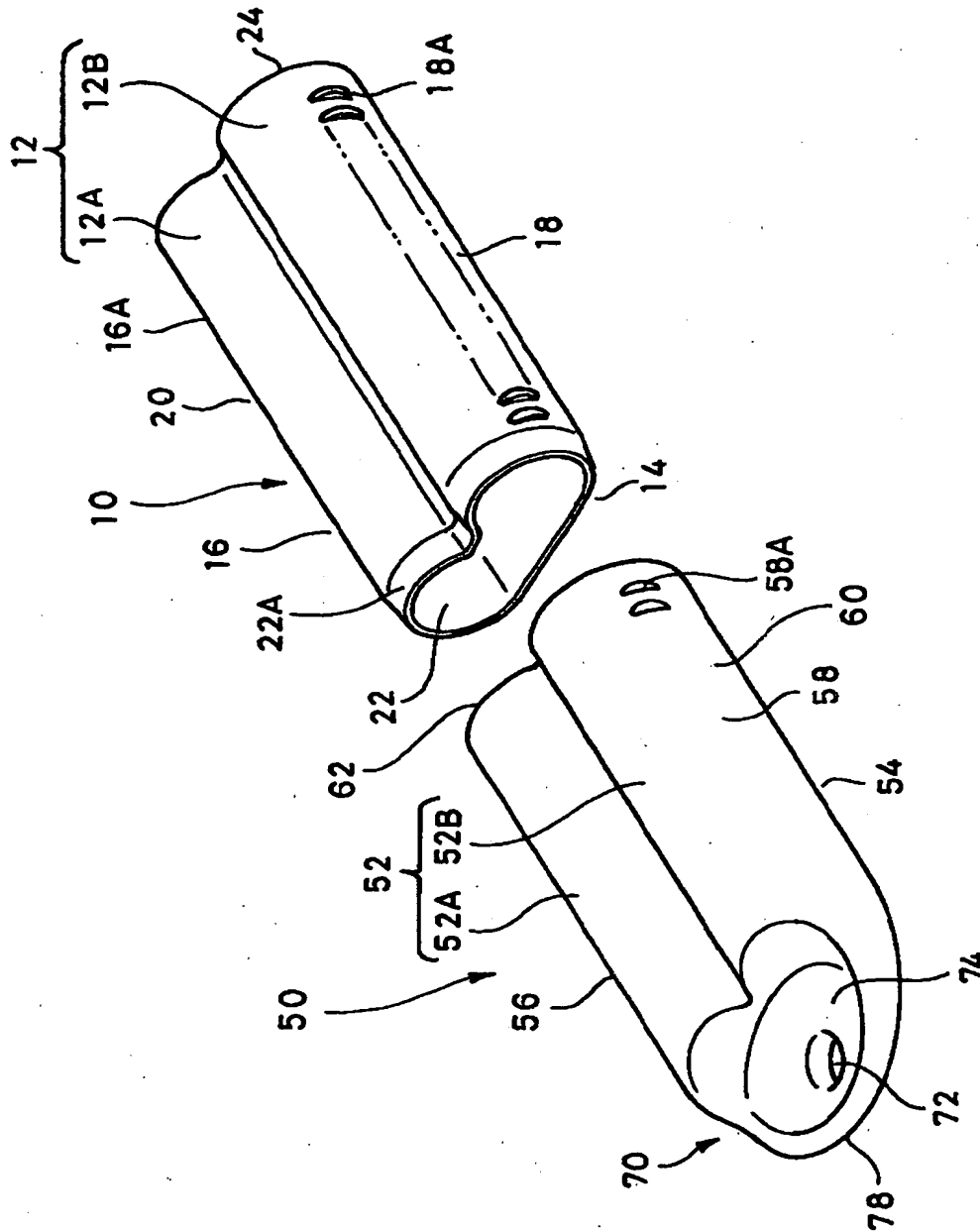
本発明の電池収納ケースの第 3 の例を説明するための説明図である。

【符号の説明】

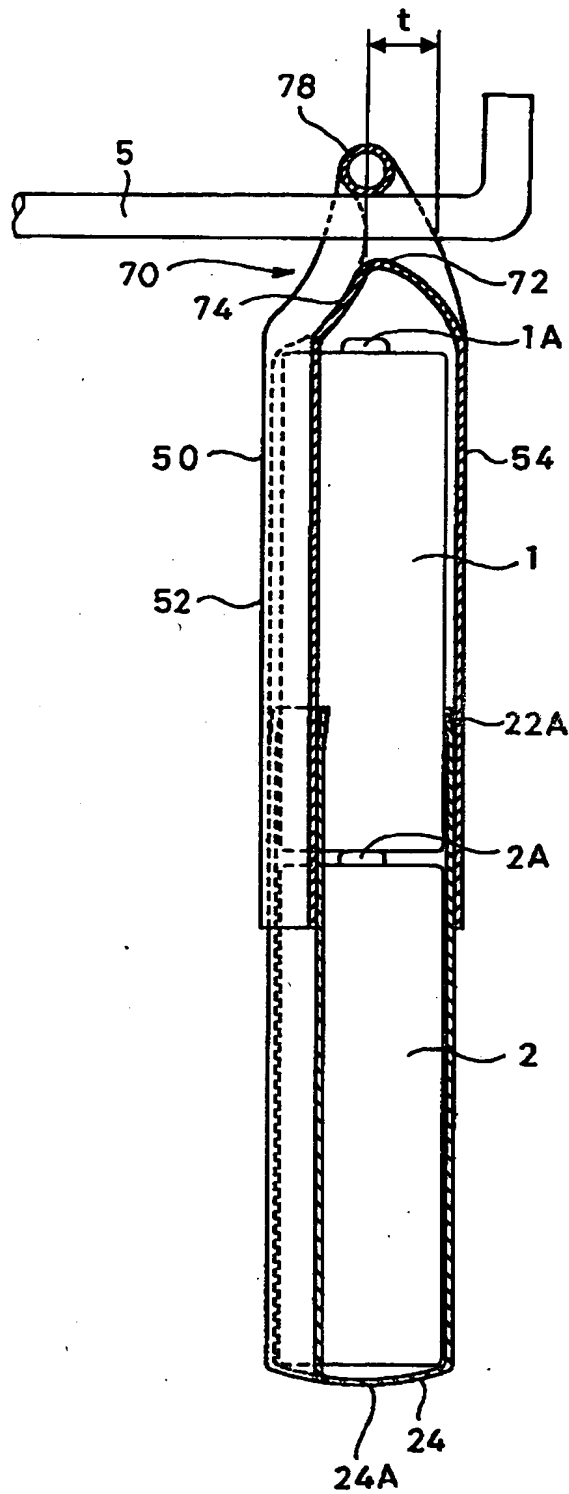
10・・・本体、 12・・・背面、 14・・・前面、 16, 18・・・側面、 16A, 18A・・・突起列、 20・・・胴体、 22・・・開口部、 24・・・底面部、 50・・・蓋部、 52・・・背面、 54・・・前面、 56, 58・・・側面、 56A, 58A・・・突起列、 60・・・胴体、 62・・・開口部、 70・・・係合部、 72・・・孔、 74・・・凹部、 110・・・本体、 120・・・胴体、 126, 128・・・突起列、 122・・・開口部、 124・・・底面部、 150・・・蓋部、 160・・・胴体、 162・・・開口部、 166・・・突起列、 170・・・係合部、 172・・・孔、 174・・・凹部

【書類名】 図面

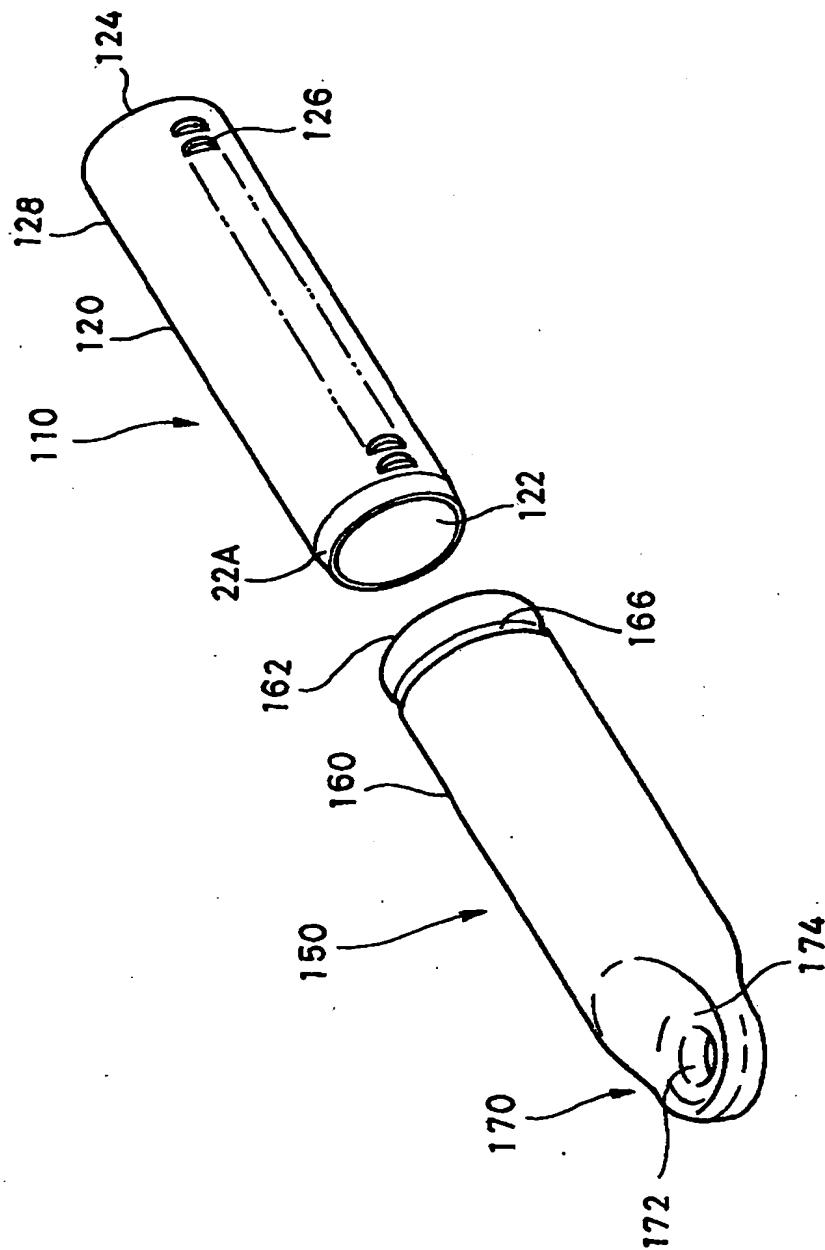
【図 1】



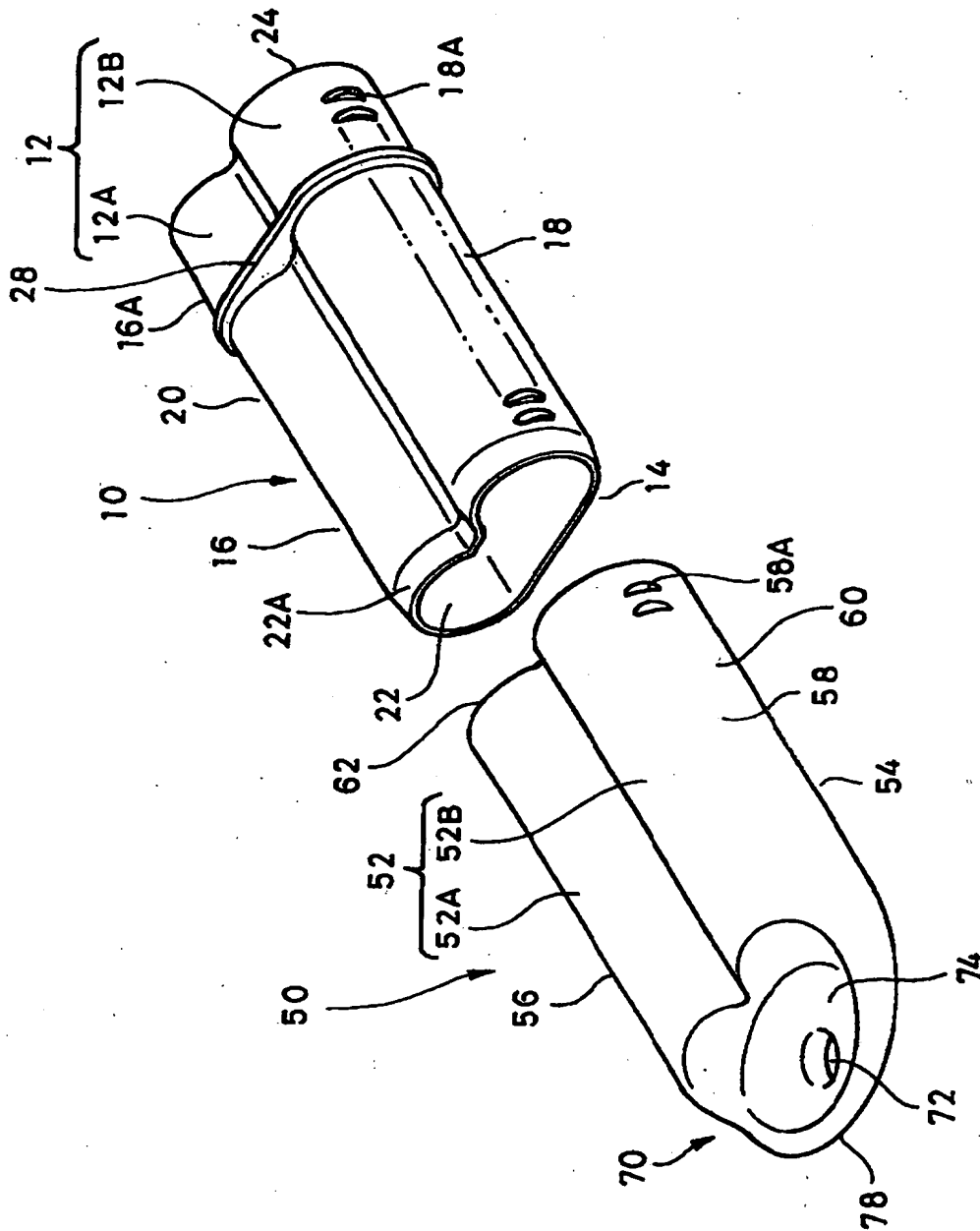
【図 2】



【図 3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電池を収納するための電池収納ケースを提供することを目的とする。

【解決手段】 胴体部と該胴体部の一端の開口部と上記胴体部の他端の底面部とを有する本体と、胴体部と該胴体部の一端の開口部と上記胴体部の他端の係合部とを有する蓋部と、を有する電池収納ケースにおいて、上記本体の胴体部の外面には突起列が設けられ、上記蓋部の胴体部の内面には上記本体の突起列に係合するように構成された突起列が設けられ、上記蓋部の係合部には貫通孔が設けられ、該貫通孔の一方の開口部の周囲は凹部となっており、上記貫通孔の周囲の一部は円筒状に形成されている。

【選択図】 図 1

【書類名】	新規性の喪失の例外証明書提出書
【提出日】	平成13年 3月22日
【あて先】	特許庁長官殿
【事件の表示】	
【出願番号】	特願2001- 44194
【提出者】	
【識別番号】	000002185
【氏名又は名称】	ソニー株式会社
【代理人】	
【識別番号】	100080883
【弁理士】	
【氏名又は名称】	松隈 秀盛
【電話番号】	03-3343-5821
【提出物件の目録】	
【物件名】	発明の新規性の喪失の例外の規定の適用を受ける ための証明書 1

【書類名】 新規性の喪失の例外証明書提出書

【提出日】 平成13年3月22日

【あて先】 特許庁長官殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2001-44194

【提出者】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】

【識別番号】 100080883

【弁理士】

【氏名又は名称】 松隈 秀盛

【電話番号】 03-3343-5821

【提出物件の目録】

【物件名】 発明の新規性の喪失の例外の規定の適用を受ける
ための証明書

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-044194
受付番号	20100550215
書類名	新規性の喪失の例外証明書提出書
担当官	小池 光憲 6999
作成日	平成13年 5月 2日

<認定情報・付加情報>

【提出者】

【識別番号】	000002185
【住所又は居所】	東京都品川区北品川6丁目7番35号
【氏名又は名称】	ソニー株式会社

【代理人】

申請人	
【識別番号】	100080883
【住所又は居所】	東京都新宿区西新宿1-8-1 新宿ビル 松隈 特許事務所
【氏名又は名称】	松隈 秀盛

【提出された物件の記事】

新規性喪失の例外証明書	1
-------------	---

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社